

開催月日 : 令和6年3月27日(水)

第2回 定期巡回・随時対応型訪問介護看護
介護・医療連携推進会議 議事録

司 会	荻 浩輝	書 記	荻 浩輝
2023年度第2回介護医療連携推進会議が千代田ステーション研修室にて14:00～15:00開催された。			
構成員及び事業所の代表者より自己紹介			
高齢者あんしんセンター麹町、グッドライフケア東京、グッドライフケア24、グッドライフケア訪問看護、利用者代表(家族)			
※千代田区指定係、民生委員の方々や居宅事業所、連携している訪問看護事業所、医療機関の方は都合が合わず不参加となったため資料にて照会とする。			
1.運営状況報告			
資料をもとに2023年9月から2024年2月までの運営状況報告を行う。現在男性利用者がおらず女性比で占めている。			
稼働件数は減少模様、新規依頼も訪問介護に比べ少ないため認知度も低いのではと思われる。コール件数や出勤件数			
夜間出勤件数についての分析。誤報によるコールが大半を占めている。エリア別に見ると神田と麹町区域で約半数の割合である。			
2.事例紹介			
目標の達成により訪問介護へ移行となりサービスが終了したケースについて別紙のとおり事例紹介を行う。以下ご意見あり			
サービスに依存することなく本人と家族が納得し在宅生活に不安のない形での終了は望ましいことである。			
3.新規の依頼について			
利用者の増加はないが今後の見通しとしてターミナルやパーキンソン病等に対応できるよう医療との連携が必須である。訪問看護における			
定期巡回としては対応が難しい場合でも、定期巡回サービス +訪問看護(医療保険)など組み合わせることで、個別性を重視した			
よりマッチしたサービス提供が行えるのではないかと考える。			
ケアマネに定期巡回サービスについて理解を深めてもらうことで、より認知されるのではないかとと思われる。			
4.介護保険改正の主な事項について			
定期巡回と夜間対応型訪問介護看護の将来的な統合を見据えて、基本報酬に新たな区分が設けられる。			
総合マネジメント加算の見直しについても現行の1000単位より見直しがあり、新たな区分が設けられる。			
5.自己評価、外部評価について			
資料参照、一部項目抜粋する			
職員の安全管理・・・昨年度より自転車におけるヘルメット着用の努力義務化が行われたがグッドライフケアは法人全体としてそれ以前よりヘルメットの着用を規定している			
24時間の暮らし全体に着目した介護看護両面からのアセスメントの実施・・・看護と介護の両面からのアセスメントが適切			
に実施され両者の共有とつぎ合わせが行われているかという点については、訪問看護を利用していない利用者においても看護師によるアセスメント訪問を行っている。他社の訪問看護が入っている場合においても、弊社の看護師がアセスメント訪問し介護への助言や共有を図っている。			
継続したモニタリングを通じた利用者等の状況変化早期把握と計画への適宜反映・・・月一回利用者の生活状況踏まえ目標に対して			

モニタリングを実施し課題に対しての計画を反映または見直しをしている。

6.今後のサービス推進のための活動について

千代田区外の医療機関や居宅事業所にも認知を高めるために広報や営業活動を行ってゆく。サービスが浸透していない実感があり

連携推進会議の次期構成員として参加していただけるよう声をかけていく。民生委員の方におかれましても、富士見地区や麴町地区の方に参加促し、地域密着を図れるようにしてゆく考え。

7.ご意見など

利用者代表よりサービスを利用してみての実感としては、去年の10月までは訪問系のサービスは利用してこなかったがそれ以降母がお世話になっている。本人(母)嫌がると想定していたが、皆さんが来るのを楽しみにしているように感じられいい刺激になっていると思う。

私も80台で高齢なのでどうなるかわからない。年齢的にもこれ以上状態がよくなるとは思わない。夜も今後必要になってくると思うがその時はお願いしたい。入所の申し込みもしているがそれまでは引き続きお願いします。

次回、2024年度第1回の介護医療連携推進会議の開催は2024年9月頃を予定しております。本日はありがとうございました。